

9款 消防費 1項 消防費

(単位:千円)

久留米広域消防組合負担金					協働推進課																								
総 額	財 源 内 訳				一般財源																								
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他																									
483,296					483,296																								
<p>【施策の目的】 市民の生命、身体、財産を火災から保護するとともに、水害等の災害を防除し、被害を最小限に抑えるために組織した、久留米広域消防組合への運営負担金である。</p> <p>【施策の実施及び施策額の内訳】 構成市町負担金総額 3,805,053千円 ・負担金内訳 【通常負担金】3,530,811千円 【特別負担金】274,242千円</p> <p>小郡市負担金総額 483,296千円 ・負担金内訳 【通常負担金】426,427千円 【特別負担金(退職手当・車両整備特別負担金・元利償還金)】56,869千円</p> <p>組合構成団体(3市2町) 久留米市・小郡市・うきは市・大刀洗町・大木町</p> <p>【施策の効果】 災害等による市民の身体、生命及び財産の保護に大きく寄与した。</p>																													
消防団管理運営費					協働推進課																								
総 額	財 源 内 訳				一般財源																								
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他																									
39,651				3,113	36,538																								
<p>1. 消防団活動費 39,059千円</p> <p>【施策の目的】 市民の生命、身体、財産を火災等から保護するとともに、水害等の災害を防除し、被害を軽減するために消防団を設置するものである。</p> <p>【施策の実施】 消防団員数 241名(平成30年3月末現在)</p> <p>主な活動</p> <table border="0"> <tr> <td>4月2日</td> <td>入退団式</td> <td>11月9日～15日</td> <td>秋の火災予防週間</td> </tr> <tr> <td>4月29日</td> <td>教養訓練</td> <td>12月10日</td> <td>教養訓練</td> </tr> <tr> <td>5月21日</td> <td>水防訓練</td> <td>12月29日～30日</td> <td>年末夜警</td> </tr> <tr> <td>7月9日</td> <td>市ポンプ操法大会</td> <td>1月8日</td> <td>出初式</td> </tr> <tr> <td>8月11日</td> <td>市民花火大会警備</td> <td>3月1日～7日</td> <td>春の火災予防週間</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3月3日</td> <td>夜間実践訓練</td> </tr> </table> <p>【施策額の内訳】 報酬・共済費・費用弁償・報償費他</p> <p>【施策の効果】 火災を初めとする災害から、市民の生命、身体及び財産を守り、安全・安心に大きく寄与した。</p> <p>2. 市・県ポンプ操法大会補助金 592千円</p> <p>【施策の目的】 厳正な規律と的確な諸動作による操法技術の向上はもとより、災害現場で要求される統制された組織の中で最低限必要な消防技術の練磨と精神力を形成し、更に団としての組織力の高揚を図り、もって、地域防災の担い手である団員の育成および組織力の強化を図ることにより、災害に強い安心・安全のまちづくりを目指すものである。</p> <p>【施策の実施】 7月9日 市ポンプ操法大会 ・優勝 第4分団 ・2位 第1分団 ・3位 第3分団</p>						4月2日	入退団式	11月9日～15日	秋の火災予防週間	4月29日	教養訓練	12月10日	教養訓練	5月21日	水防訓練	12月29日～30日	年末夜警	7月9日	市ポンプ操法大会	1月8日	出初式	8月11日	市民花火大会警備	3月1日～7日	春の火災予防週間			3月3日	夜間実践訓練
4月2日	入退団式	11月9日～15日	秋の火災予防週間																										
4月29日	教養訓練	12月10日	教養訓練																										
5月21日	水防訓練	12月29日～30日	年末夜警																										
7月9日	市ポンプ操法大会	1月8日	出初式																										
8月11日	市民花火大会警備	3月1日～7日	春の火災予防週間																										
		3月3日	夜間実践訓練																										

【施策の効果】

市大会は新入団員を中心に実施し、各分団における若い人材の育成を進めるとともに、各分団の消防操法技術の向上が図られた。

**自主防災組織支援事業**

協働推進課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,087					1,087

【施策の目的】

地域防災力の向上を図るため、行政区における自主防災組織の活動等に対して支援を行うものである。

【施策の実施】

地域防災力強化事業費補助金は、各自主防災組織における自主防災活動や人材育成に対し、補助金を交付するもので次の3事業がある。

- ・地域防災施設整備事業  
【補助対象】防災倉庫の設置や改修に係る経費 【補助率】1/2 【再交付までの経過期間】5年
- ・地域防災活動支援事業  
【補助対象】資機材の整備や訓練の実施等に係る経費 【補助率】1/2 【再交付までの経過期間】2年
- ・防災士育成事業  
【補助対象】防災士資格取得者 【補助金額】3万円

【施策額の内訳】

《地域防災力強化事業費補助金》

	自主防災組織	補助金	申請事業
1	宝城南自主防災組織	95,259	地域防災施設整備
2	中央2区自主防災会	12,273	地域防災活動支援
3	大崎区自主防災組織	155,028	地域防災活動支援
4	三国が丘2区自主防災会	142,345	地域防災活動支援
5	大保原区自主防災会	164,538	地域防災活動支援
6	力武区自主防災会	35,100	地域防災活動支援
7	希みが丘区自主防災組織	348,300	地域防災活動支援
8	横隈区自主防災会	30,000	防災士育成
9	赤川区自主防災会	104,490	地域防災活動支援
	合計	1,087,333	

【施策の効果】

平成25年度末では、本市の自主防災組織の設立数は22組織、活動カバー率49%であったが、平成26年度に39組織が新たに設立され、組織設立数は61組織、活動カバー率100%となった。

防災に関する意識が向上し、各種訓練や研修会等の出前講座が多く実施され、自主防災組織の活動強化・育成が図られた(行政区単位:実施回数11回、参加者1,130人 校区単位:実施回数15回、参加者555人)。

※活動カバー率:全世帯数のうち、自主防災組織の活動範囲に含まれている地域の世帯数の割合

**災害時備蓄事業**

協働推進課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,946				1,946	

【施策の目的】

小郡市災害時備蓄計画に基づき、平成24年度から平成28年度までの5年間で食料、生活必需品及び災害応急対策に必要な防災資機材等の行政備蓄を行っており、その備蓄食料のうち消費期限の近づいたものを更新するものである。

【施策の実施及び施策額の内訳】

九州北部豪雨の被災地へ送った支援品の補充を行うとともに、備蓄食料の更新を行った。

- ・備蓄消耗品 1,598千円  
(粉ミルク、アルファ米、おかゆ、乾燥スープ、飲料水、哺乳瓶、おむつ、生理用品、災害用食器セットなど)
- ・災害時備蓄品備蓄倉庫賃借料 348千円

【施策の効果】

平成24年福岡県防災アセスメント結果に基づき、本市における被害想定として算定された食料供給対象人口約50,000人の10%に相当する5,000人を目安としての食料等の行政備蓄、併せて避難所等に防災倉庫を設置し、備蓄資機材の確保を平成24から28年度で行った。今年度は、消費期限の近づいた食料の更新を行い、行政備蓄品の適正な管理を実施した。